

県内初！ 令和4年4月からペットボトルの

「ボトル to ボトル」リサイクルが始まります

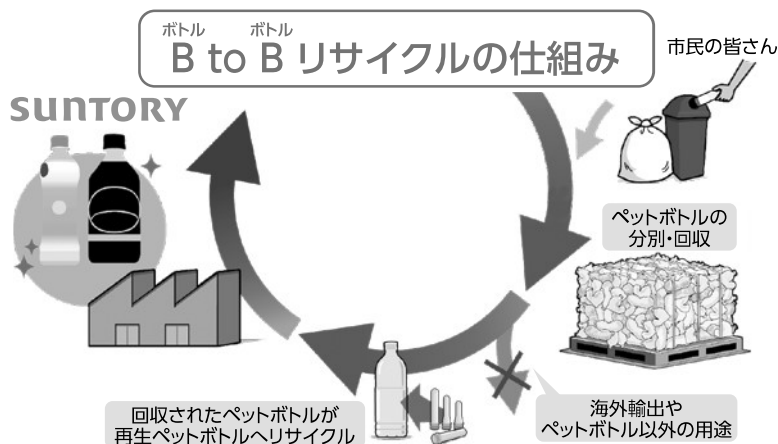
市では、将来世代により良い環境をつなぐため、脱炭素社会を目指す施策の一環として、プラスチックの資源循環を推進しています。「ペットボトルの100%サステナブル化^{*}」の実現を目指す清涼飲料メーカーのサントリーグループと連携し、新たに取り組む「ボトル to ボトル」リサイクルについて紹介します。 ^{*}リサイクル素材あるいは植物由来素材のみを使用し、化石由来原料の新規使用をゼロにすること。

“何度も”循環できる資源

「ボトル to ボトル」リサイクルとは、使用済みのペットボトルを原料として、新しいペットボトルに再生することで、ペットボトルを繰り返し活用できる資源として循環させる取り組みです。

日本におけるペットボトルのリサイクル率は高い水準にありますが、ペットボトルからペットボトルへのリサイクル率は15.7%にとどまっています。トレイなどペットボトル以外にリサイクルされたものは、使用後に焼却されてしまうことが多く、数回でリサイクルの輪が途切れてしまっています。

今後、市で資源ごみとして回収したペットボトルは、全てサントリー製品のペットボトルとなって繰り返し使用されます。



でも『ボトル to ボトル』が始まります

株式会社バローホールディングスと連携し、この取り組みを一緒に啓発していきます。今後は、市で回収したペットボトルに加え、市内3店舗（下恵土店、西可児店、広見店）で回収されたペットボトルも「ボトル to ボトル」リサイクルしていきます。

“これからも”ペットボトルのリサイクルにご協力ください

ペットボトルの出し方は、これまでと変わりません。キャップとラベルを外し、中を軽くすすいでから、各地区の資源ごみの日または、エコドームに出してください。回収日などの詳細は16ページまたは市HPをご覧ください。



市HP

